

【事務連絡①②】新産業育成課

2 点ご紹介をさせていただきます。

まず 1 点目でございます。

こちら左上のタイトルの通り、第 3 回埼玉県サーキュラーエコノミースタートアップビジネスプランコンテストのご紹介でございます。

こちらの今年度行わせていただくものになりますけども過去 2 回実施をさせていただきました。

対象はスタートアップ企業様ですとか、企業を目指す方を対象に、埼玉県内で展開する CE 型のサーキュラーエコノミー型のビジネスプランを募集し、表彰支援させていただくものでございます。

こちら、県外の企業様や既存法人様の第二創業や社内ベンチャー、こういったものも幅広く対象とさせていただいております、ご応募いただくことが可能でございます。

最優秀賞には賞金といたしまして 100 万円でございますけども、その他実証企業の皆様に対しては県が事業展開に向けた支援を行わせていただくことが特徴となっております。

右上になりますけども募集は 8 月上旬から開始をさせていただきまして一次審査を経た後 11 月中旬に最終プレゼン審査を予定しております。

こちら第 1 回目の受賞者の方のご紹介になりますけども、本日は受賞企業のうち 2 社様が第 2 部のご出展をいただいております。

1 社目は一番上の最優秀賞を受賞されました株式会社 GYXUS 様でございます。石膏ボードの水平リサイクルに取り組み合わせていらっしゃいます。ぜひブースの方にもお立ち寄りいただければと思います。

2 社目は、先ほど三枝課長様からもご紹介いただきましたけども、HUB&STOK 株式会社様でございます。

建築資材の二次流通の仕組みづくりに取り組まれていらっしゃいまして、ブースの方ご出展されておりますので、ぜひお立ち寄りいただければと思います。

第 3 回の募集開始につきましては、また改めてホームページ等でお知らせをさせていただく予定でございますけども、ご応募などに関してお問い合わせがございましたら、お気軽に新産業育成課までご連絡をいただければと思います。

続いて 2 点目でございます。

こちら産業団地を核としたサーキュラルエコノミー推進事業という形で今年度からの新規事業という形で取り組ませていただくものでございます。

こちらの趣旨といたしましては企業が集積される産業団地を中心といたしましてサーキュラーエコノミーの取組を創出していこうではないかということになっておりまして、企業様のグループを形成させていただいて、そのグループに対して事業化ですとか、取組に対する伴走支援を行わせていただくプロジェクトでございます。

取組グループにあたっては同一の産業団地内だけではなく、団地外の企業様、引いては県外の企業様とのコラボレーションも想定をしております。本事業のキックオフにあたりまして、7 月 28 日、来週の火曜日 13 時半から説明会を開催させていただくという運びになっております。説明会の方ですけども、当日は渋谷 MIX を開場といたしまして、Zoom ウェビナーとのハイブリッド開催によりましてプログラム説明を行います。

この説明の他にもサーキュラーエコノミー HUB 編集長的那須様によるご講演も予定をしております。産業団地や工業団地に立地されていない企業様ないし埼玉県外の企業様も業種を問わずご参加いただける内容となっております。

少しでもご興味ありましたら、ぜひお申し込みをいただければと思います。

申し込みは前日の 27 日まで受け付けてございます。

こちらが事業紹介のご紹介のページになりますけども。ご興味あれば読み取っていただければと思います。

本プログラムでは、説明会以降にアンケート調査ですとか、ワークショップなどを行いながらグループ作りを進めてまいります。

他社様との新たな接点ですとか協業機会として本プログラムをご活用いただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします

【事務連絡③】産業労働政策課

埼玉県における価格転嫁の円滑化に向けた取組についてご説明いたします。

本日はその具体的な例について、皆様にお役立ちするものを紹介させていただきます。

まず価格交渉支援ツールについてご説明いたします。

価格転嫁の交渉の場で必要となるエビデンスとしていただくため、こちら日銀の国内企業物価指数等を品目として選んでいただくと、自動的にこの真ん中の資料の通り作成されるツールを埼玉県が作成いたしました。

本ツールは受注者側の立場として取引からエビデンスを求められている際や、発注者側の立場として価格交渉を受けている値上げが適切なものかどうかかわからないときにご活用いただけます。

県のホームページから無料でダウンロードできるようにしております。

価格交渉支援ツールは労務費の転嫁にもご活用いただけるよう、機能の拡充の方も行ってるところです。

毎月多くの方にダウンロードしていただいておりますので、ぜひお使いいただければと思います。

次に収支計画シミュレーターについてです。

企業の価格転換の有無が今後の収益に与える影響が見える化し、必要となる価格転換の程度を分析できるツールになります。

今後5年間の長期的な収支について価格転換をした場合としなかった場合での比較が可能で簡単なフォーマットで作成ができます。

こちらでも無料でダウンロードができます。

次に価格交渉のノウハウを身につけていただきますよう中小企業診断士が支援を希望する企業を訪問し価格交渉の課題の洗い出しから改善策の提示まで伴走支援を行っているものでございます。

こちらにも枠の制限はありますが、希望すれば無料で3回まで支援を受けることが可能となっております。

次に令和8年1月に施行された中小自宅取引適正化法に関連しまして、県では1チームで適正な取引を推進していくための仕組みとして地域の身近な支援機関で相談を受けられる体制を構築いたしました。

発注元の取引に関するお困りごと全般について相談することが可能となりました。

こちらちょっと詳細を割愛しますが、後ほど県のホームページでご確認いただければと思います。

最後に県の方からお願いとなります。

本日ご出席の民間企業の皆様におかれましては、ご説明しました内容を参考にいただき、発注者の方においても適切な価格転嫁への対応をお願いいたします。

また地方公共団体の皆様も、各自治体はもちろん、各地域の商工会議所や商工会などと連携していただき、本日ご紹介した支援策の周知を行っていただくとともに、公共発注において現在料費や労務費の上昇分の適切な反映にご協力をお願いできればと思います。

以上でご説明を終わります。

【事務連絡④】環境政策課

私からは環境政策課で実施をしています、彩の国・埼玉環境大賞の募集についてご案内をいたします。

彩の国・埼玉環境大賞とは、環境保全に関する意識の醸成や行動の促進を図るため、脱炭素・循環型社会の実現につながる活動や身近な自然の保全活動などを行う個人団体事業者等の皆様を知事が表彰するもので、今年度で28回目を迎えるものでございます。

はじめに環境大賞の各賞を受賞した際のメリットについてご案内をいたします。

1つ目に受賞者限定のロゴマークをご使用いただけます。

こちら右側に3つ並んでいるロゴマークですが、皆様の名刺やホームページ等でご使用いただくことにより対外的にアピールすることができます。

2つ目に、テレビ埼玉様で放映が予定されております、大賞を受賞された方々のご紹介や、表彰式の様子等も放映される予定でございます。

県内全域にわたって皆様の取組をご紹介させていただきます。

3つ目に県が取組内容のPRを行います。

県のホームページ等で広くご紹介させていただくため、認知度の向上が期待されます。

続いて応募の概要でございます。

本表彰には県民部門・事業者部門があり、県民部門は県内で活動する団体や学校等、事業者部門は県内に事業所を有する事業者が対象となっております。

循環型社会の構築につながる活動など、様々な取組が対象となっております。

表彰には大賞・優秀賞・奨励賞がございます。

ご応募いただく際には県ホームページに掲載されております様式をメールにて環境政策課までご提出ください。

募集は 9 月 30 日水曜日まで受け付けております

詳細は本日会場にございますリーフレットまた県のホームページで「彩の国・埼玉環境大賞」とご検索していただいて、詳細をご確認いただければと思います。

その他ご不明な点がございましたら環境政策課までお問い合わせください。

皆様のご応募お待ちしております。

以上でございます。

【事務連絡⑤⑥】資源循環推進課

本日は 2 点ご説明させていただきます。

まず 1 つ目はテーマ別部会の設置についてです。

昨年度の本分科会総会のアンケートにおきまして、皆様からいただきました結果、関心のある分野が非常に多岐にわたることが判明いたしました。

そこで本分科会の目的でありますリーディングモデル構築ということを見まして、より皆様のニーズに応える形で新たにテーマ別の部会を設置することといたしました。

この部会につきましてはアンケートやヒアリングの結果を踏まえまして、県からテーマの候補を提案させていただくというものになっております。全体で 1, 2 件の設置を検討しておりますが、まずは第 1 弾としまして再生プラスチックの部会の設置を進めております。

この再生プラスチック部会の目的は、再生プラスチックの利用拡大に向けた情報提供や意見交換、具体的には廃プラスチックの回収から再資源化を行う供給体制の構築や動静脈連携の事業化といったところを検討しております。

こちらキックオフミーティングの方を今年の 9 月頃に開催させていただくことで調整の方を進めてまいります。

本日のアンケートに、県がテーマの候補と考えている分野を上げさせていただきます。

複数の項目を選択可能ですので、ぜひご興味のあるもの課題と感じている項目がございましたらアンケートでご回答いただけますと幸いです。

また、ご紹介させていただきましたこの部会につきまして、廃プラスチックという項目を今回のアンケートの方に設けさせていただいております。この部会に興味がありますよという方は、ぜひこのアンケートの方に廃プラスチックのところにチェックを入れていただけますとありがたいです。

また本日、関東環境局様からのご講演いただきましたとおり、太陽光パネル、非常に関心が高まっているところがございますが、こちらは昨年度から太陽電池モジュールリサイクル協議会が本分科会に合流いたしまして、そちらで議論を進めていくという体制を取らせていただいておりますので、ご興味のある方はそちらの方にご参加いただければと思います。

続きまして資源回収拠点の設置についてご説明させていただきます。こちら県民への普及啓発を目的といたしまして、県主催のイベントと連動した資源回収ボックスの設置事業となります。

今回は2つのイベントと連動して設置の方を考えております。

1つ目はサーキュラーエコノミーラボ in 越谷です。

こちらは越谷市にご協力いただきまして、越谷市役所の庁舎内及び南越谷駅の近くにありますサンシティ越谷市民ホールの敷地内に設置を予定しております。

2つ目は9月のシルバーウィークの頃に、環境科学国際センターが実施予定の環境学習イベントと連動した取組となります。

こちらは環境科学国際センターの敷地内に回収ボックスの方を設置する予定です。

設置条件としましては、共通条件としまして各イベントへの出展等も合わせてご協力の方をいただきたいと考えております。

また、こちらは来年の1月までの期間限定での設置と考えております。

いずれも施設管理者の判断で設置場所などを決定いたしますので、その点はあらかじめご了承くださいと思います。

本事業は、今後各地域での資源循環取り組み事例として発信をさせていただく予定でございます。

詳細な申請条件などにつきましては、近日中に配信させていただきます本分科会のメールマガジン及び埼玉県ホームページで紹介ご案内させていただきます。

最後に、こちら先ほどご紹介させていただきました、サーキュラーエコノミーラボ in 越谷のご案内です。

昨年度も越谷レイクタウンで開催させていただき、大変ご好評で、今年度も越谷レイクタウンで開催させていただくことが決定いたしました。今年度は、10月3日土曜日と4日の日曜日の2日間での開催となります。こちらからも近日中にメールマガジンで詳細をお知らせさせていただきます。

説明は以上となります。
ありがとうございました。